

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 東京都稲城市立稲城第六中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒206-0824
東京都稲城市 若葉台 3-11

E-mail inagi6j@educet.plala.or.jp

Website academic1.plala.or.jp/ine6j/

児童・生徒数 男子 268名 女子 249名 合計 517名
児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

六中ふれあいの日とは

毎年11月の第1土曜日に行われる稲城第六中学校独自の学校行事です(27年度は11月7日(土)に実施)。ふれあいの日は

青少年育成若葉台地区委員会のコーディネートの下、地域と学校が連携し、生徒の健全な育成を目的に行われています。

また、六中の学校づくりの基本方針「共育」の柱となる行事でもあります。

今年も、若葉台と坂浜の各自治会に御尽力いただき、工夫を凝らした企画を実施し、昼食を含め六中の生徒を丸一日育てていただきました。教員や保護者はサポート役に回り、生徒が地域の中で活躍できるよう支援しています。

小中連携の視点からこの行事を見てみると、小学生の頃は「地域に学ぶ」という形だったものが、中学生となると「地域と動く」という形に変化するところに重点が置かれます。

ふれあいの日は稲城第六中学校がユネスコスクールに登録された際の「地域づくりに貢献する生徒の育成」プロジェクトの核となるとともに、本校ESD教育の核ともなる行事として位置づけられています。

1年生の活動 「地域体験学習」

・うどんづくり・ソーセージ作りとふれあいロード花壇整備 ・ピザ焼きとペットボトルロケット作り・いなぎ歩くマップ、坂浜～若葉台散策とふれあいの森野外ゲーム・わらぞうりづくり

<坂浜自治会・水車の会・蒼の区町会・クレヴィアパークナード自治会・ビューコート自治会の皆様>

うどんを小麦粉の状態から作るのは初めての体験でした。中でも生地を薄くのばす作業はとても楽しく印象に残っています。うどんと一緒に出された天ぷらは本当においしかったです。

味がしっかりとっていて、サクサクとした食感が最高でした。一緒にうどんを作ってくださったお母さんはとても親切で、私たちの質問にやさしく教えてくださいました。今回の体験は、私にとってとても印象的で楽しいものでした。

私はこの体験を忘れずに今回地域の方々とたくさん触れ合ったことを今後の生活に生かしていければと思います。(生徒のお礼状より)



2年生の活動 「稲城の環境を知ろう」

稲城の環境について、平尾にお住まいの「三世代の会」の方々からお話をうかがいました。『稲城市史』の編纂に尽力された渡辺先生からは、「谷戸は泉のわき出る一等地」として太古からこの地域が自然に恵まれた環境であること『平和の碑』が「ふるさとの姿は変われども、わがふるさとの心変わらず。長い伝統と先人から培ってきた助け合いと協同による和の精神として脈々と流れ継がれることを記念して建立されて」おり、私たちがこれからも大切に受け継いでいきたい稲城の心を学びました。

画家の稲田さんからは六中の建っている辺りの縄文時代の土で描いた土偶の絵などを見せていただきながら、夢を追い続けることの大切さを学びました。

まだお母さんのお腹の中にいる時にヒロシマで被爆された浜住さんからは、平和の大切さを改めて学びました。



3年生の活動 「稲城の歴史を知る」

縄文時代の石器の黒曜石の切れ味のすごさ、塞の神（どんど焼きの神様）の実物、太平洋戦争で投下された焼夷弾のふたの実物など、本物を見せていただきながら、縄文から太平洋戦争までの若葉台地区の変遷を学びました。



オリンピック・パラリンピック教育

車椅子バスケット

車椅子バスケットのチーム編成についてのルールが新鮮でした。車椅子バスケットのルールは、一般のバスケットのルールとほぼ同じです。ただ、チーム編成に特色があり、選手一人一人の障がいの程度により、1点から0.5点きざみで、4.5点までクラス分けされています。常にコートに出ている五人の合計が14点以内でなければなりません。あとは、ダブルドリブルがなく、車椅子をこぐのが2回以内でドリブルすれば、またこいでもよいというルールもあります。ルールを知れば、さらに本番を楽しむことができます。バスケット部の生徒が車椅子バスケットに挑戦しましたが、シュートしてもポストにとどかないのが印象的でした。模範試合では、強くぶつかり合う迫りに圧倒されました。



車椅子マラソン

高校2年のときに交通事故に遭い骨髄を損傷され、車椅子生活になられた土田和歌子選手。

長野パラリンピックではアイススレッジスピードレース1000M, 1500Mで金メダル。2000年のシドニーでは車椅子マラソンに転向し銅メダル。2004年アテネで銀メダルと活躍。

しかし、2008年の北京5000Mの競技中のアクシデントにより出場できず。現在はリオのパラリンピックに向けて挑戦中です。

土田和歌子選手から、「夢を追い続ける」「決してあきらめない」ことなどを学びました。



日本の伝統文化の良さを発信する能力・態度の育成

能楽教室

能楽協会のお二人の方におこしいただいて、能楽を学びました。扇子を使っての所作や、謡の練習、能面をつける貴重な体験などをしました。国語や音楽の教科書にもある「羽衣」も舞って頂きました。



戦争体験

地域の戦争体験者の方の話を聞きます。「私の話は色々忘れてしまってもかまわないけれど、『戦争に正義はない』ということばだけは絶対に忘れないでください。」とおっしゃったことばがとても印象的でした。



生け花教室

地域の華道の先生におこしいただいて、華道を学びました。水の中で切るという基礎的なことから、お花の生け方のこつも学びました。



箏楽教室

生田流箏曲大師範 粟井先生においでいただき、お箏の授業をしていただきました。小学校でも指導していただいているせいか、しっかりとした姿勢で演奏することができました。



命の授業

犯罪被害の会の方のお話を聞きました。幸せに過ごされていた娘さんが自転車で走行中、酒気帯び運転の犯人によって突然命をうばわれてしまった父親の悲痛な悲しみ、怒りの話をお聞きしました。

他にも薬物乱用防止教室やケイタイの犯罪トラブル防止のセーフティ教室も行いました。



福祉体験

稲城社会福祉協議会・手話サークル「いなぎ」の皆さまにより、手話を学び点字体験などもしました。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）